

平成 29 年度 事業者向け放課後等デイサービス【ふらっぷ】自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		4		部屋が狭く、指導訓練室等スペースの部屋を作る余裕がないが、個人が集中して取り組めるスペースは作っている。また、別室で運動できる場所を用意して活動を組み立てる工夫をしてきた。平成 30 年度には新しい建物への移転が決まっており、現状よりも適切な利用定員とスペースの関係が作られると考えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			適切な配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			4	入り口はスロープになっており車いすの方でも入りやすいが、建物内部のいくつかの場所には手すり等はなく、身障者用トイレもないが、少しでも使いやすくするための工夫はしてきた。来年度はバリアフリーの配慮がなされた建物に移転するため、使いづらは解消されると思われる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	3		利用児の支援については随時話し合いながら進めているが、業務全体については細かな目標設定まではできていなかった。改善を図るための話し合いは課題を見つけるたびに行い対応を協議してきた。今後の課題として、ふらっぷ全体での明確な目標設定をし、期間を定めながら振り返りをしていきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			4	今回の評価が初めての実施だが、アンケート調査の結果を受けて改善につなげていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			4	今回の評価が初めての実施。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		2	2	まだできていない。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			職員の経験・スキル等に応じて内部・外部での研修の機会を作っている。今後も継続して取り組みたい。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			利用児の普段の様子や保護者・学校からの情報等を受けて職員全体で共有し、必要と思われる支援の組み立てをしているが、より専門的なアセスメントがまだ十分に足りていないと考えている。医療機関等関係機関からの情報も参考にしながら適切なアセスメントを努めていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			

	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			リーダー職員を中心としてチーム全体で企画している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2		季節に応じた活動や個々のニーズに合わせた運動プログラム等を取り入れ、子ども自身に活動を選択してもらうことを大切に考えている。今後は、SSTを取り入れたプログラム等も企画していきたいと考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			平日、長期休暇で過ごす時間や集団が異なるため、それぞれの場面に応じて集団・個別での支援課題を確認している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		利用児の活動に合わせて職員の動きが分かるため、事前にそれぞれの役割を確認している。また、利用児の状態についても職員全体で共有し、個々に応じた配慮点等をその都度話し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	1	気づいたことはその都度話し合って共有しているが、職員が研修等で不在の時は記録を通しての確認となっている。また、長期休暇の期間は支援終了後に職員全員で振り返るのは難しい状況のため、翌日に前日の状況や、変化があり配慮が必要なことなどを伝え合い共有できるようにしてきた。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			後日検証が必要と思われることは記録に残していけるよう確認している。一人一人の子どもの変化等は職員間で必ず伝えるようにしているので今後も続けていきたい。
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	1		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		入学当初は下校時間等をこまめに学校とも確認していたが、学校生活のリズムが落ち着いてからは基本的な学校の情報は保護者からもらっている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3		1	現在、利用の希望がないため医療的ケアが必要な子どもの受け入れはしていないが、利用児の病院名・主治医の名前・連絡先は確認しており、その情報が保管されている場所も職員間で共有している。

の連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	1	あゆみを卒園した子どもについては情報共有しているが、年度途中からの利用児やあゆみ以外の児童発達支援事業所を利用していた子どもについては保護者からの情報が中心となっている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	今年度放課後等デイサービスをスタートしたばかりで移行の機会がないが、必要に応じて情報提供をしていきたいと考えている。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3		1	
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			4	していない
	㉔	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			4	していない
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			迎えに来られた際、必ず保護者に子どもの様子等を伝えている。家庭や学校での子どもの様子を聞くことができ、保護者からの相談を受けることもあり、子どもの共通理解へとつなげられていると感じている。今後も保護者と話せる機会を大切にしたい
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	1	今年度はできていないが、来年度に勉強会の機会を作っていきたいと考えている。(ただし、保護者と情報共有するなかで、ペアレント・トレーニング等の考えを活用した手立てについての話をしている)
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	1		3	契約、面談時等に児童発達支援管理責任者が説明をしている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1		3	対応した職員がすぐに答えられない時には後日返事をさせてほしいと保護者に伝え、職員全員で相談内容を共有して支援や助言を返せるようにしている、
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			4	今年度は開催できていないが、来年度は企画していきたいと考えている。
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1		3	他の職員や管理職に報告・連絡・相談した後どうするか話し合っている。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			月1回、ふらっぶだよりを発行し、子どもたちの様子を写真で載せている。活動の予定や季節に応じた連絡事項等もふらっぶだよりを通じて発信している。今後も継続していきたい。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	4			

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			言葉だけではなく文字やイラストを使用して伝える等の配慮をしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			4	今年度ではできていない。30年度には新しい建物へ移行するため、地域に合わせた行事等の開催を検討したい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	1	職員間では周知しているが、保護者への周知はできていない。保護者への説明の機会を作ってきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			職員の訓練を定期的実施し、避難誘導の仕方や職員の動きなどの確認をしている。子どもが参加しての訓練は2回のみ。地震を想定した建物内での避難の練習と、火災を想定した建物外への避難の練習を行った。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3		外部への研修には個々で参加しているが、事業所内で全職員が共有することはできていない。職員会等を通じて虐待についての話をしている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	1	3		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		3	1	現在アレルギーのある子どもの利用がないが、利用があった場合にはアレルギー食材が含まれるものは提供しない、アレルギー食材には近づけないなどの対応を考えている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			夕の引継ぎでその日の気づきを発表し合ってみんなで情報を共有し、事故防止への対策を考えられるようにしている。

職員 3 名・児発管 1 名